

## 行政視察報告書

視察報告者 橋本 敬広

【視察期間】 令和 元年10月16日（水）～10月18日（金）3日間

【視察先1】 鳥取県倉吉市：レトロ&クールツーリズムによる観光の取組について

【視察日】 令和 元年10月16日（水）

【応対者】 倉吉市 企画産業部 商工観光課長兼関西事務所長 谷田 富穂 様  
倉吉市 企画産業部 商工観光課 観光係 主事 垣原 将志 様

【概要】 レトロ&クール。伝統と歴史ある白壁土蔵群とキャラクターグッズ。それらが融合・調和するまちとして新たな伝統への挑戦を始めるとして、観光面でふるさと名物応援宣言がされた。全世界から注目される **Made in Japan** のキャラクターグッズについて、世界にその魅力を伝え、重要伝統的建造物群保存地区に指定されるまちなみとそのキャラクターがコラボし、幅広い年齢層の観光客を呼び込む取り組みとなっている。

【所感】 歴史的建造物がある。それだけでも観光客を呼び込むことができると観光面での視察の際には思うが、更に世界的に有名な日本の文化となっているアニメやキャラクター関連のグッズが加わることにより、魅力を増加している。キャラクターグッズを販売する企業を誘致することによりこれが実現されたことになりましたが、羨ましいの一言。観光面から見ても企業誘致の重要性が更に増しました。また、音楽配信コンテンツのインターネット上の架空都市の名称が倉吉市ではないかとファンの間で話題となり、そこからも広がりやつながりが起こっている。倉吉市出身の方が地元愛で作成されたものなのかと想像したが、そうではなかった。不思議としか言いようがない。様々な事象がある中で、それを敏感に察知する職員がいて、と、全てが良い方向に向かっている。ここまでうまくいく事例というものは少ないと思います。世界レベルの知名度のもの、それを発見、発信、または誘致することができればその可能性は飛躍的に増すのではないかと思います。キャラクター等で考えると大分市においては、ロケ地の誘致等様々取り組まれているが、その後の広がりを考えるとまだ少ないと思われます。本年実施されているラグビーワールドカップの盛り上がりの中、このようなチャンスが存在していたのかを検証することも大事であると思う。チャンスを敏感にとらえられるよう感度を上げていきたいと思いました。

【視察先2】岐阜県高山市：高山市協働のまちづくりについて

【視察日】令和元年10月17日（木）

【応対者】高山市 市民活動部 協働推進課 課長 水口 広 様

【概要】「市民が主役という理念に基づき、市民、地域住民組織、事業者、行政などがお互いの存在意義を認識し、尊重し合い、お互いの持てる能力を発揮し、共に手を携えて、地域課題の解決に取り組む。」と定義

組織の総称を「まちづくり協議会」として20の地区で取り組みを実施

市は、①財政的な支援として、総額2億5千万円規模で既存の補助金等の交付金と統合し、均等割と人口・面積割にして配分。②人的な関わりとして、

職員が企画調整、協議会の運営や会計事務の助言や連絡調整を担当する。③

事務所の提供として支所や学校（社会教育の部屋が存在）を提供している。

④要望への対応として、協議会からの要望事項を市が実施している。

【所感】協議会という形式で地域の要望を聴取する方法で、行政の目の届かないところを、そこに住まれている住民から問題点があれば要望が上がってくるという良い取り組みだと思います。予算的にも地域に配慮した配分がされている。

人的支援で職員の方がほぼ張り付きで対応している点もかゆいところに手が届く支援で、実際には負担が多いのではないかと思います。自治会でも様々な役職に就かれる方がいないという人材不足が懸念されていますが、こうして職員の方がおられるということは安心であると思います。また、大分市でもそうであるが職員の方や退職された方が地域の行事などに参加されていることについて敬意を表します。向こう三軒両隣と言われていた良き時代の絆づくりのためにも、私共も地域のために何ができるか今後も研鑽しようと思います。そして事務所の提供としては、学校内に社会教育の部屋が存在しており、そこを拠点として活動ができることに少々驚きました。夜間使用することもあり、セキュリティの問題も懸念されますが、学校と協議会の連携ができていると感心しました。

大分市では地域まちづくりビジョン会議が現在も継続されていますが、高山市の取り組みは身近なビジョン会議との印象がある。ある意味、私共議員が伺う市民相談の内容でもあると思います。まちづくりについて今後も尽力してまいります。